１月８日（水曜日）

第 3 学期が始まりました。4・5 年生は 52 日、他の学年は 51 日という短い学期ですが、1 年間のまとめとなる大切な学期です。1 月は行く、2 月は逃げる、3 月は去ると言われるように、月日はどんどんと過ぎてしまいます。一日一日を大切に過ごすために、3 学期の目標をじっくりと考えることを話しました。また、次の学年に進級するための準備をすることも話しました。1 年生は 2 年生の 0 学期の始まりであり、6 年生は中学 1 年生の 0 学期の始まりになります。6 年生にとっては、小学校生活も残り 3 ヶ月です。中学校入学に向けて学習を計画的に行い、やり残しがないようにしてもらいたいです。今日から始まった 3 学期、事故なくけがなく、充実した学期になることを期待しています。学校長

１月９日（木曜日）

3 校時が始まってから約 10 分後に、体育館に足を運びました。「ゴォー」という大型ストーブ 2 台の音しか聞こえてきません。しかし 5 年生が「競書会」をしていたのです。約 50 名が、集中して「美しい空」という書き初めをしていました。明日が作品〆切日なので、この競書会が最後になる可能性が高いのです。一心不乱に、書き込んでいます。担任に話を聞くと、冬休みの課題として用紙を 5 枚渡し、その中から一番よくできた作品を 1 枚提出することになっていたそうです。昨日その作品に目を通したら、ほとんどの子供の作品が上達していたとのことです。中には、新たに用紙を購入して練習していた子供もいるようです。全体がレベルアップしているようなので、どんな作品ができるかが楽しみになってきました。緊張感のある静寂、とてもいい雰囲気です。学校長

１月１０日（金曜日）

今日から待ちに待った「給食」が始まりました。私は冬季休業中はコンビニ弁当だったり外食したりしていましたが、これからは給食がお昼の空腹を満たしてくれます。今日のメニューは、七草ごはんや鰆のから揚げ、みそ汁、牛乳でした。七草は「せり、なずな、ごぎょう、はこべら、ほとけのざ、すずな、すずしろ」ですが、給食の食材として入っていたのは「せり」のみです。7 日には、七草がゆを召し上がったご家庭も多いのではないでしょうか？鰆は、魚へんに春と書きます。七草ご飯や鰆のから揚げ、季節感あふれる給食でした。子供たちもニッコリ。学校長

１月１４日（火曜日）

3 連休明けですので、コロナやインフルエンザが蔓延しているのではないかと心配しましたが、大ごとにはならず安心しています。さて、今日から 6 年生と共に校長室で「会食」が始まりました。卒業を前に私と会食し、小学校生活の思い出の一つになればと思い毎年実施しています。男女混合で 5 名が来室しましたが、緊張しているのかふだんとは様子が異なるようです。初めのうちは話が盛り上がらなかったものの徐々に緊張感もほぐれ、楽しいひと時になりました。「卒業せずに、まだ小学生のままでいたいです。中学校は大変そうです。」印象深い一言でした。学校長

１月１５日（水曜日）

２年生の生活で、野菜を育てています。はつか大根やほうれん草、小松菜の３種類です。このクラスでははつか大根や小松菜が２～３名ずつで、大半はほうれん草とのことです。一人一鉢で種をまき、冬休み中は家庭で水やりをし、3学期が始まったので学校に持ってきました。タブレットを持ち、成長している様子を写真に収めていました。教室に戻ってからは「かんさつ名人になろう。」というめあてで、色や形大きさ、葉の様子や茎の様子など、紙にまとめていました。食べることができるぐらいに、大きく成長してくれることを期待しています。学校長

１月１６日（木曜日）

今週の14日から「発育測定」が始まりました。毎学期始めには、身長と体重を測ります。クラス全員が保健室に入りますので、養護教諭からその時期に応じた保健指導も行います。今回は全学年に「感染症を予防しよう。」という話をしています。「感染症を予防するために、みんなができることは何ですか？」の問いに対して、うがいや手洗い換気などの声が上がりました。紙芝居には4つの絵があります。1マスク 2手洗い 3換気 4健康チェックです。中でも健康チェックについて、詳しく説明していました。体温の測り方です。保健室に来室して体温を測らせると、正しくできていない子供もいるようなので一斉指導がありました。わきの下の汗を拭くことやわきの下の真ん中に当てること、反対の手で挟んでいる腕を抑えることです。これからは正しく計測できると思います。養護教諭からは最後に「皆さん、6年生の0学期が始まりました。今度の4月からは最高学年になります。心も体も６年生になれるよう、しっかりと準備をしてください。」5年生の子供たちは、大きくうなずいてくれました。学校長

１月１７日（金曜日）

３年生がアリットに行き、「ふるさとの昔にタイムスリップ」という単元で学習しました。「むかしのくらしと道具展」や「昔の仕事・あそび体験」、「くらしの移り変わり」を学びました。学芸員さんがとても丁寧に説明してくださったので、子供たちの理解が深まりました。昭和初期の農家と昭和中期の住宅を比較して、どのように生活が変わってきたのかを考えています。昭和中期というと私が産まれた頃ですから、今となってはだいぶ前のことになります。家電や生活の様子を見学して、懐かしくその頃を思い出しました。だるま落としやブンブンゴマで遊んだり、着物を着せていただいたりして、子供たちは十分に楽しんでいる様子でした。土日には特別なイベントもあるようですので、ご家族でアリットに行ってみてはいかがでしょうか。学校長

１月２０日（月曜日）

二十四節気の「大寒」を迎えましたが、日中は寒さを感じずとても穏やかでした。今日は４年生の担任のお子さんの体調が悪く、自習計画を立てたあとすぐに帰宅しました。どうしても人が足りなかったので、私は４校時から給食、清掃、５校時、帰りの会までずっと子供たちと一緒に生活しました。担任のいるいないは関係なく、どんなことにも一生懸命やる子供たちでした。給食当番も自分たちで進んでやってくれましたし、掃除も隅々まできれいにしてくれました。ほうきを持っていた女子に「掃除、頑張ってるね。」と声をかけると「掃除はいつもしっかりやっています。」と返してくれました。掃除を一生懸命やることは当たり前のことですが、子供たちが頑張っている姿を見てとてもうれしくなりました。学校長

１月２１日（火曜日）

児童朝会があり、給食委員会が中心になり「給食に感謝する会」をしました。毎日おいし給食を作ってくださる栄養士さんや調理員さんに感謝の気持ちを伝えます。給食に関する○×クイズや代表児童による感謝の言葉、給食献立コンクールの発表、手紙やカレンダー似顔絵、雑巾のプレゼント渡し、校長の話がありました。代表児童の言葉（一部分ですが）をお知らせします。1 年生の時からおいしい給食を食べてきたので、小さかった身長も 6 年間でとても大きくなりました。卒業したらこのおいしい給食が食べられなくなると思うと寂しいですが、卒業までしっかり味わって食べようと思います。これからもずっとおいしく、栄養たっぷりの給食を狭山小で作ってもらいたいです。とても立派な感謝の言葉でした。栄養士さんや調理員さんの心にも響いたことでしょう。学校長

１月２２日（水曜日）

5 校時に武蔵中学校から 2 名が来校し、6 年生の 2 クラスに出前授業を行っていただきました。予定していた 1 名の教員が体調不良でしたので、代役としてなんと武蔵中学校長が来られました。武蔵中学校について、わかりやすいスライドを 6 年生に見せてくださいました。冒頭「校長先生は何歳ぐらいに見えますか？近くの人と 15 秒話してください。」、「50 歳以上だと思う人？」挙手した子供が 1 名、「50 歳より下だと思う人?」残り全員が挙手しました。最初から子供たちの心をつかみ、中学校長の話術で時間があっという間に過ぎていきました。武蔵中学校の生徒たちのことを誰よりも真剣に考えすぐに行動に移す姿は、同じ校長として深い学びがありました。授業の終わりには、入間 CATV で放映された「武蔵旋風（県大会に出場することが決まった部活動）」の紹介 DVD を観ました。狭山小の子供たちが、どの部活動にするかのヒントになったと思います。学校長

１月２３日（木曜日）

2 校時に 3 年生が「人権教室」の授業を受けました。所沢人権擁護委員協議会入間部会と市役所人権推進課から 10 名の方が来校しました。「思いやりの心を育てる人権教室」と題し、人権のことについて 3 年生にもわかりやすく説明していただきました。大型テレビを使った紙芝居では、いじめられている子供がやがていじめがなくなるまでの話をしていただきました。また「種をまこう」という詩の朗読を子供たちと一緒にしてくださいました。誰もが産まれた時から持っている大切なもの、それが「命」と「人権」です。この人権教室で、相手の心を思いやることや優しい気持ちを持つことを学びました。学校長

１月２４日（金曜日）

3 校時に 4 年生が「ボッチャ体験」をしました。総合的な学習で「コミュニケーションを広げよう」という単元で、パラスポーツ体験があります。県立入間わかくさ高等特別支援学校から 3 名の教員が来校し、ボッチャの楽しさを味わわせてくださいました。ボッチャは、目標とする白いボールに、赤と青のそれぞれ 6 球ずつのボールを投げたり、転がしたり、他のボールに当てたりして、いかに近づけるかを競うものです。ルールがとてもわかりやすく、すぐに競技したり審判したりできました。体育館内に響き渡るような楽しんでいる声や拍手、ここまで盛り上がるものなのかと私は驚きました。「初めてボッチャをやって、簡単そうに見えたけど難しかったです。」や「見た目よりボールが重たくてびっくりしました。」などの感想発表がありました。支援学校の先生方からは「みんなが盛り上がってくれてとてもうれしかった。」や「パラリンピックにも興味をもってほしい。」、「障害者スポーツを知ってほしい。」といったまとめの話がありました。どうもありがとうございました。学校長

１月２５日（土曜日）

学校公開日でした。2 校時と 4 校時に授業公開し、3 校時は健康委員会（学校保健委員会）を開催しました。講師は、全国ラジオ体操連盟の理事・指導委員の方で、ＮＨＫのテレビ体操にも出演していました。「可動域が広い体をつくる」というテーマで、ラジオ体操で体を若返らせることをご指導いただきました。約 15 分の講義のあとは、実技になりました。ラジオ体操第１の一つ一つの正しい動きを、解説を入れながら丁寧に教えていただきました。私が教員になったばかりの頃に、先輩教員から「朝礼台の上であなたがラジオ体操をやるんだから、テレビを何度も見て覚えてきなさい。」と言われました。子供の前で演示するので、腕の曲げ伸ばしやかかとの上げ下ろし、体のひねり方やそらし方など、必死になって覚えたことを思い出しました。参加した保護者は、指導者の話をよく聞き正しい動きになるよう楽しみながら学んでいました。生涯スポーツを言われているこの時代です。たった 3 分で全身を整えて活性化できる「ラジオ体操」、明日から始めてみませんか？講師の先生、横浜からお越しいただきありがとうございました。学校長

１月２８日（火曜日）

講話朝会がありました。私が最近感じていることを、子供たちに伝えました。私は毎日「教室訪問」をしています。教室に行って出席状況の確認や施設設備に不備はないか、学習状況はどうかなどを見ています。どの教室に行っても「温かい雰囲気」で授業が進められていることがわかります。温かい眼差しで見つめていたり、赤ペンを持って丸つけしていたり、子供の頑張りを笑顔で見守り必要に応じて声かけしていたりする狭山小の教師。教師と子供、子供同士の信頼関係がしっかりできており、たとえ失敗しても許される教室の中で、子供たちが確実に力を伸ばしていることを伝えました。一生懸命授業をする教師と、真剣に学ぼうとする子供たちでつくりだす温かな雰囲気。毎日の「教室訪問」をしていて感じられる、とても幸せなひとときのことを話しました。学校長

１月２９日（水曜日）

少し風があり、寒い朝を迎えました。子供たちは 8 時過ぎに登校し、朝の支度を終えると運動場に出てきます。花壇の花に水をあげている委員会の子供たちや、自分が育てている球根や野菜に水をあげている子、ボール遊びや鬼ごっこ、固定施設・遊具で遊んでいる子、朝マラソンをしている子の他に、縄跳びを楽しんでいる子もいます。縄跳び台はいくつかありますが、いつも行列ができている台があります。「どうしてこの台に並ぶのですか？」と聞くと「一番よく跳ねる台だからです。」との答え。たくさん練習して、いろいろな技ができるようになるといいですね。学校長

１月３０日（木曜日）

３校時に 1 年生が体育館で、「跳び箱を使った運動遊び」をしていました。跳び箱を使って跳び乗りや跳び降りをしたりします。今日はこの単元の 2 時間目ということでしたので、跳び箱の縦と横を使いながら、3 段と 4 段で楽しみながら学習していました。いろいろな場所をローテーションしながら、跳び越えていきます。器械運動系は「できる・できない」がはっきりしますので、運動が嫌いになる子供もいます。しかし、できなくても挑戦する、失敗しても何度も繰り返す経験を通して、やがてできるようになります。その過程を大切に授業を組み立てていきます。学校長

１月３１日（金曜日）
　午後から武蔵中学校区 3 校連絡会がありました。武蔵中や宮寺小の先生方が来られて、5 校時に授業を参観していただきました。そのあと全体会や分科会になりました。分科会は学力向上・家庭学習・英語・道徳・生徒指導（教育相談）・体力向上・特別支援と教務・養護教諭と部会がかなりありますが、それぞれがこの中学校区の子供たちのために熱心な話し合いをしていました。そして部会で話し合われたことの発表があり、成果や課題がはっきりとしてきました。学校長